

# 国際関係学科 到達目標(自学科ホスト科目のみ)

※修得できる能力との関連性 ◎:強く関連 ○:関連 △:やや関連

科目区分	授業科目	学位授与方針					到達目標						
		知識	技能	思考・判断・表現力	コミュニケーション力	自律的行動力	DP1 知識	DP2 技能	DP3 思考・判断・表現力	DP4 コミュニケーション力	DP5 自律的行動力		
外国語科目	英語必修	英文法・英作文A		◎	○	○		国際的な場で自らの意見を表現するために必要な、基礎的な英文法・英作文能力を身につけている。	身近な話題を考察し、それに対する自分の意見を適切な英文法・英作文パターンを用いて表現することができる。	基礎的な英文法・英作文能力を駆使して他者に自らの考えを自信を持って伝える態度を身につけている。			
		英文法・英作文B		◎	○	○		国際的な場で自らの意見を表現するために必要な、基礎的な英文法・英作文能力を身につけている。	身近な話題を考察し、それに対する自分の意見を適切な英文法・英作文パターンを用いて表現することができる。	基礎的な英文法・英作文能力を駆使して他者に自らの考えを自信を持って伝える態度を身につけている。			
		English Practicum1A		◎	○	○		英語の基礎的なスピーチやプレゼンテーションの型を理解し、実践することができる。	身近な話題を考察し、それに対する自分の意見を適切なスピーチ・プレゼンテーションの型を用いて表現することができる。	英語を使って他者を積極的に理解し、対話しようとする姿勢を身につけている。			
		English Practicum1B		◎	○	○		英語の基礎的なスピーチやプレゼンテーションの型を理解し、実践することができる。	身近な話題を考察し、それに対する自分の意見を適切なスピーチ・プレゼンテーションの型を用いて表現することができる。	英語を使って他者を積極的に理解し、対話しようとする姿勢を身につけている。			
		英語表現法A		◎	○	○		国際的な場で意見交換を行うために必要な、応用力のある英語表現力を身につけている。	与えられた話題について考察し、様々な見解があることを理解したうえで、適切な英語を用いて自分の意見を明確に表現することができる。	応用力を備えた英語力で他者に自らの考えを自信を持って伝える態度を身につけている。			
		英語表現法B		◎	○	○		国際的な場で意見交換を行うために必要な、応用力のある英語表現力を身につけている。	与えられた話題について考察し、様々な見解があることを理解したうえで、適切な英語を用いて自分の意見を明確に表現することができる。	応用力を備えた英語力で他者に自らの考えを自信を持って伝える態度を身につけている。			
		English Practicum2A		◎	○	○		やや高度な英語のスピーチやプレゼンテーションの型を理解し、実践することができる。	国際関係に関する話題を考察し、それに対する自分の意見を適切なスピーチの型を用いて表現することができる。	英語を使って他者を積極的に理解し、円滑なコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につけている。			
		English Practicum2B		◎	○	○		やや高度な英語のスピーチやプレゼンテーションの型を理解し、実践することができる。	国際関係に関する話題を考察し、それに対する自分の意見を適切なスピーチの型を用いて表現することができる。	英語を使って他者を積極的に理解し、円滑なコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につけている。			
		英語論文作成法 I		◎	○	○		国際的な場で自らの意見を表現するのに十分な英語論文作成能力を身につけている。	自ら課題を立て調査・分析し、その結果を習得した英語論文作成法を用いて表すことができる。	豊かな英語表現力と秩序立った論の展開の両方を駆使して、他者に自らの考えを自信を持って伝える態度を身につけている。			
		英語論文作成法 II		◎	○	○		国際的な場で自らの意見を表現するのに十分な英語論文作成能力を身につけている。	自ら課題を立て調査・分析し、その結果を習得した英語論文作成法を用いて表すことができる。	豊かな英語表現力と秩序立った論の展開の両方を駆使して、他者に自らの考えを自信を持って伝える態度を身につけている。			
		English Practicum3A		◎	○	○		高度な英語のスピーチやプレゼンテーションの型を理解し、実践することができる。	国際関係に関する話題を考察・議論し、それらを適切なスピーチ・プレゼンテーションの型を用いて表現することができる。	英語を使って他者を深く理解し、円滑なコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につけている。			
	English Practicum3B		◎	○	○		高度な英語のスピーチやプレゼンテーションの型を理解し、実践することができる。	国際関係に関する話題を考察・議論し、それらを適切なスピーチ・プレゼンテーションの型を用いて表現することができる。	英語を使って他者を深く理解し、円滑なコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につけている。				
英語選択	英語学概論	◎	○				英語学に関する基礎的な知識を身につけている。	英語学に関する知識に基づいて、初歩的なレベルで英語を分析することができる。					
	原書講読	○	◎	○			多文化主義やグローバル化社会の諸相について、英語文献を通して知識と理解を深める。	英語で書かれた文献や学術論文などを正確に理解し、自分で整理した内容を表現する高度な英語力を身につけている。	共同体や共生についての諸問題について複眼的かつ論理的に思考し、解決策を探索し、自分の意見を明確に表現することができる。				
専門基礎科目	必修	国際関係概論	◎	○			社会科学の方法および世界の各地域に関する基礎的な知識を体系的かつ総合的に理解している。	社会科学の方法および世界の各地域を知るために必要な情報を収集、分析できる。					
		国際関係の争点	◎	○			国際情勢を理解する上で必要となる幅広い知識を身につけている。	国際関係を理解する上で重要となる情報を収集し、分析することができる。					
		国際関係史	◎	○			近現代の国際関係史(東アジアに重点を置く)に関する基礎的な知識を体系的かつ総合的に理解している。	国際関係を歴史的に理解するために必要な情報を収集、分析できる。					
		国際関係の理論	◎	○			国際関係の理解に必要な基礎的な知識を体系的に修得している。	国際関係の理解に必要な情報の収集・分析をすることができる。					
	選択	中国研究概論	◎	○			現代中国・台湾に関する基礎的な知識を身につけている。	中国・台湾に関する基本的な情報を収集、分析することができる。					
		朝鮮半島研究概論	◎	○			朝鮮半島の近現代史および国際政治について基礎的な知識を身につけている。	朝鮮半島の状況判断に必要な情報を収集、分析することができる。					
東南アジア研究概論	◎	○			東南アジアに関する基礎的な知識を身につけている。	東南アジアに関する基本的な情報を収集、分析することができる。							
専門	演習科目	必修	入門演習			◎	○	◎		世界の諸問題について、論理的に思考して解決策を探索し、自分の考えや意見を論理的に発信することができる。	他者と協働して効果的に活動できるコミュニケーション力を有している。	世界の文化・社会等への関心を持ち続け、様々な題材を用いて深める意欲を有している。	
			基礎演習		○	◎	◎			現代の国際情勢を理解するために必要な情報の収集、分析をすることができる。	世界の諸問題について、社会科学の観点から自己の意見を形成し、論理的に表現することができる。	他者と積極的な議論をしながら、協働して活動できるコミュニケーション力を有している。	
			専門演習 I		○	◎	○			自分の力で、専門的な情報の収集・分析や調査をすることができる。	世界の諸問題を専門的に考察し、その解決策を探索することができる。他者の意見も尊重しながら、自己の意見を確立し、専門的な観点から表現することができる。	文化的多様性に配慮しながら、他者と円滑にコミュニケーションできる。	
			専門演習 II		○	◎	○			自分の力で、専門的な情報の収集・分析や調査をすることができる。	世界の諸問題を専門的に考察し、その解決策を探索することができる。他者の意見も尊重しながら、自己の意見を確立し、専門的な観点から表現することができる。	文化的多様性に配慮しながら、他者と円滑にコミュニケーションできる。	
			卒業研究演習 I		○	◎	○			自分の力で、高度な情報の収集・分析や調査をすることができる。	世界の諸問題を高度な知識を背景に考察し、その解決策を見出すことができる。他者の意見も尊重しながら、自己の意見を確立し、高度な内容を表現することができる。	円滑なコミュニケーション力を背景として、自ら設定した目標を達成する。	
			卒業研究演習 II		○	◎	○			自分の力で、高度な情報の収集・分析や調査をすることができる。	世界の諸問題を高度な知識を背景に考察し、その解決策を見出すことができる。他者の意見も尊重しながら、自己の意見を確立し、高度な内容を表現することができる。	円滑なコミュニケーション力を背景として、自ら設定した目標を達成する。	
門		英米文化概論 I	◎	○			英米文化(主にイギリス)に関する基礎的な知識を体系的かつ総合的に理解している。	英米文化(主にイギリス)を知るために必要な情報を収集、分析できる。					
		英米文化概論 II	◎	○			英米文化(主にアメリカ合衆国)に関する基礎的な知識を体系的かつ総合的に理解している。	英米文化(主にアメリカ合衆国)を知るために必要な情報を収集、分析できる。					

# 国際関係学科 到達目標入力様式(自学科ホスト科目のみ)

※修得できる能力との関連性 ◎:強く関連 ○:関連 △:やや関連

科目区分	授業科目	学位授与方針					到達目標				
		知識	技能	思考・判断・表現力	コミュニケーション力	自律的行動力	DP1 知識	DP2 技能	DP3 思考・判断・表現力	DP4 コミュニケーション力	DP5 自律的行動力
育 科 目	専 門	英米文学概論Ⅰ	◎	○			英米文学(主にアメリカ合衆国)の変遷と多様化についての基礎的知識を身につけている。	文学作品について自ら調査・研究を行って多角的に思考することができる。			
		英米文学概論Ⅱ	◎	○			英米文学(主にイギリス)の変遷と多様化についての基礎的知識を身につけている。	文学作品について自ら調査・研究を行って多角的に思考することができる。			
		経済学の基礎	◎	○			経済学を理解するための基盤となる知識を体系的に身につけている。	経済学的な思考に基づく分析ができる。			
		アメリカの社会	◎	○			アメリカの社会に関する基礎的な知識を体系的かつ総合的に理解している。	アメリカの社会を理解するために必要な情報を収集、分析できる。			
		イギリス研究Ⅰ	◎	○			イギリス政治と社会の動向(主に1990年代以降)に関する専門的な知識を体系的かつ総合的に理解している。	イギリス政治と社会の動向(主に1990年代以降)を知るために必要な情報を収集、分析できる。			
		イギリス研究Ⅱ	◎	○			現代イギリスの対外関係に関する専門的な知識を体系的かつ総合的に理解している。	現代イギリスの対外関係を知るために必要な情報を収集、分析できる。			
		イギリス研究Ⅲ	◎	○			イギリス政治と社会の動向(主に1980年代以前)に関する専門的な知識を体系的かつ総合的に理解している。	イギリス政治と社会の動向(主に1980年代以前)を知るために必要な情報を収集、分析できる。			
		イギリス研究Ⅳ	◎	○			イギリス社会の歴史と現状に関する専門的な知識を体系的かつ総合的に理解している。	イギリス社会の歴史と現状を知るために必要な情報を収集、分析できる。			
		現代中国の政治	◎	○			現代中国の政治に関する専門的な知識を身につけている。	現代中国政治の理解に必要な情報を収集、分析することができる。			
		現代中国の外交	◎	○			現代中国の外交に関する専門的な知識を身につけている。	現代中国外交の理解に必要な情報を収集、分析することができる。			
		韓国・北朝鮮の政治外交Ⅰ	◎	○			韓国の国内・国際政治に関する知識を体系的かつ総合的に身につけている。	韓国政治・外交の状況判断に必要な情報を収集、分析することができる。			
		韓国・北朝鮮の政治外交Ⅱ	◎	○			北朝鮮の国内・国際政治に関する知識を体系的かつ総合的に身につけている。	北朝鮮政治・外交の状況判断に必要な情報を収集、分析することができる。			
		東南アジアの社会と歴史	◎	○			東南アジアの社会と歴史に関する専門的な知識を身につけている。	東南アジアの社会と歴史の理解に必要な情報を収集、分析することができる。			
		東南アジアの政治と外交	◎	○			東南アジアの政治と外交に関する専門的な知識を身につけている。	東南アジアの政治と外交の理解に必要な情報を収集、分析することができる。			
		国際開発協力論【環】	◎	○			国際政治経済の一領域として国際開発協力を捉え、専門的な知識を身につけている。	国際開発協力分野における情報を収集し、分析や調査ができる。			
		平和研究	◎	○			平和構築における多面的な活動を体系的かつ総合的に理解している。	国際社会による平和構築活動に関する情報を収集し、分析や調査ができる。			
		国際機構論Ⅰ	◎	○			国際機構(主に国際連合)の諸側面について基礎的知識を修得する。	国際機構(主に国際連合)に関する情報の収集・分析をすることができる。			
		国際機構論Ⅱ	◎	○			国際機構(主に地域的機構)の諸側面について基礎的知識を修得する。	国際機構(主に地域的機構)に関する情報の収集・分析をすることができる。			
		国際紛争論	◎	○			紛争とそれに関連する事項について専門的な知識を修得する。	紛争に関する情報の収集・分析をすることができる。			
		地球環境論【環】	◎	○			地球環境に関して専門的な知識を身につけている。	地球環境についての情報を収集し、分析や調査ができる。			
	世界経済論	◎	○			グローバル化する世界経済が抱える様々な課題とその背景を総合的に理解している。	グローバル化する世界の課題解決に必要な情報を収集、分析することができる。				
	国際関係特講Ⅰ	◎	○			国際関係に関する特定の事項について専門的な知識を修得する。	国際関係に関する特定の情報の収集・分析をすることができる。				
	国際関係特講Ⅱ	◎	○			国際関係に関する特定の事項について専門的な知識を修得する。	国際関係に関する特定の情報の収集・分析をすることができる。				
	倫理学	◎	○			倫理学について基礎的知識を修得する。	倫理に関する情報を収集・分析をすることができる。				
	アメリカ史の争点	◎	○			アメリカ史に関する専門的な知識を体系的かつ総合的に理解している。	アメリカ史を理解するために必要な情報を収集、分析できる。				

国際関係学科 到達目標入力様式(自学科ホスト科目のみ)

※修得できる能力との関連性 ◎:強く関連 ○:関連 △:やや関連

科目区分	授業科目	学位授与方針					到達目標				
		知識	技能	思考・判断・表現力	コミュニケーション力	自律的行動力	DP1 知識	DP2 技能	DP3 思考・判断・表現力	DP4 コミュニケーション力	DP5 自律的行動力
	アメリカ政治研究	◎	○				アメリカ政治に関する高度な知識を体系的かつ総合的に理解している。	アメリカ政治を理解するために必要な高度な情報を収集、分析できる。			
	現代アメリカ政治	◎	○				アメリカ政治に関する基礎的な知識を体系的かつ総合的に理解している。	アメリカ政治を理解するために必要な基本的情報を収集、分析できる。			
	東アジア経済論	◎	○				相互交流が深まる東アジア経済の現状について幅広い知識を身につけている。	東アジア経済の分析に必要な情報を収集、活用することができる。			
	東アジア地域秩序論 I	◎	○				東アジア共同体論の歴史と展開の理解に必要な基礎的専門的知識を修得する。	東アジア共同体論について一定程度専門的な情報の収集・分析や調査をすることができる。			
	東アジア地域秩序論 II	◎	○				東アジア三国(日本、韓国・朝鮮、中国)のナショナリズムの進展の理解に必要な基礎的専門的知識を修得する。	東アジア三国のナショナリズムの歴史と現状について一定程度専門的な情報の収集・分析や調査をすることができる。			
	国際人権研究	◎	○				国際人権の諸側面について基礎的知識を修得する。	国際人権に関する情報の収集・分析をすることができる。			
	国際政治経済論 I	◎	○				国際政治経済の理解に必要な基礎的知識を体系的に修得している。	国際政治経済の状況把握に必要な情報を収集、分析することができる。			
	国際政治経済論 II	◎	○				国際政治経済の理解に必要な幅広い知識を総合的に修得している。	国際政治経済の状況把握に必要な情報を収集、分析することができる。			
関連科目	異文化研究A			○	◎	○			世界の諸問題について論理的に思考し、自分の考えを発信することができる。	文化的背景の異なる他者と積極的にコミュニケーションをとることができる。	世界の文化・社会等への関心を深める意欲を有している。
	異文化研究B			○	◎	○			世界の諸問題について論理的に思考し、自分の考えを発信することができる。	文化的背景の異なる他者と積極的にコミュニケーションをとることができる。	世界の文化・社会等への関心を深める意欲を有している。
	異文化演習A			○	◎	○			世界の諸問題について論理的に思考し、自分の考えを発信することができる。	文化的背景の異なる他者と円滑にコミュニケーションをとることができる。	世界の文化・社会等への関心を深める意欲を有している。
	異文化演習B			○	◎	○			世界の諸問題について論理的に思考し、自分の考えを発信することができる。	文化的背景の異なる他者と円滑にコミュニケーションをとることができる。	世界の文化・社会等への関心を深める意欲を有している。
実践科目	特定課題演習B【G】			○	○	◎			多文化共生社会の実現に向けて、学際的視点から自分の意見を明確に表現することができる。	英語によるコミュニケーション力を持ち、他者と協働して活動することができる。	多文化共生社会の実現に向けて、主体的に取り組む意欲を有している。
	特定課題演習C【G】			○	○	◎			多文化共生社会への深い理解に基づいて、自分の考えを発信することができる。	文化的背景の異なる他者と外国語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	多文化共生社会の課題解決に向けて主体的に取り組み、自他ともに尊重する解決方法を模索することができる。
	特定課題演習D【G】			○	○	◎			多文化共生社会への深い理解に基づいて、自分の考えを発信することができる。	文化的背景の異なる他者と外国語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	多文化共生社会の課題解決に向けて主体的に取り組み、自他ともに尊重する解決方法を模索することができる。